

環境への取り組み

当社グループは、気候変動問題への対応をサステナビリティ経営の重要事項と捉えています。2022年6月には「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」による提言に賛同しました。今後、気候変動への対応、温室効果ガス(GHG)排出量削減に向けた取り組みについて検討し、TCFD提言に基づく適切な情報開示を行います。



2022年度	Scope1	Scope2
	5,454 t-CO ₂ e	31,612 t-CO ₂ e

調剤薬局事業

調剤薬局事業では、環境に配慮した店舗づくりや、エコバッグの推奨、残薬の削減などを通じ、環境負荷の低減に取り組んでおります。店舗をご利用される患者さまの利便性を考慮しながら、環境関連法令の遵守と環境保全に積極的に取り組み、企業活動の全般にわたって資源の有効活用に努めていきます。

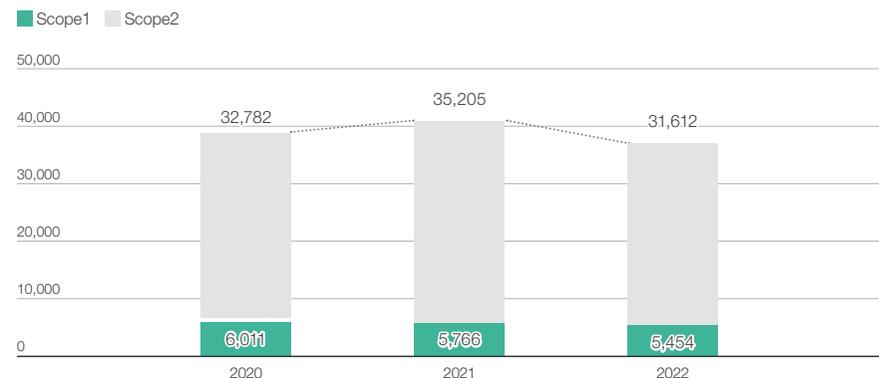
医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業では、建物を取得した工場の場合は改修を行い、CO₂排出量、淡水使用量、電力使用量の少ない最新設備を整備しています。また、新設した工場では建設段階から環境に配慮した工場の設計を実施しています。引き続き、環境負荷低減への投資や取り組みを継続的に行っています。

調剤薬局事業および医薬品製造販売事業における各種取り組みおよび成果(データ)につきましては、当社サステナビリティサイトをご覧ください。

<https://www.nicho.co.jp/corporate/sustainability/esg/environment/>

CO₂排出量(Scope1/2)の推移



当社グループの温室効果ガス削減に向けて下記の通り目標を定めています。

- 2030年：調剤薬局事業 1店舗あたりのCO₂排出量 30%減(2020年度比)
医薬品製造販売事業 生産錠数1億錠あたりのCO₂排出量 30%減(2020年度比)
- 2050年：カーボンニュートラルの実現(CO₂排出量実質ゼロ)

TOPIC / 薬局店舗のLED化対応を推進

当社では、薬局1店舗あたりにおけるCO₂排出量を、2020年度比、2030年度までに30%削減する目標を設定しています。この目標の実現に向けてさまざまな検討を重ねた結果、複数ある取り組みの中の一つとして、薬局店舗の電灯のLED化を実施しています。当社では2016年6月以降に新規開局した店舗の電灯は、すべてLED化されていますが、それ以前に出店した約460店舗が未対応となっています。Scope2におけるCO₂削減のため、年間100店舗前後のLED化を実施するとともに、コストの低減を図っていきます。

